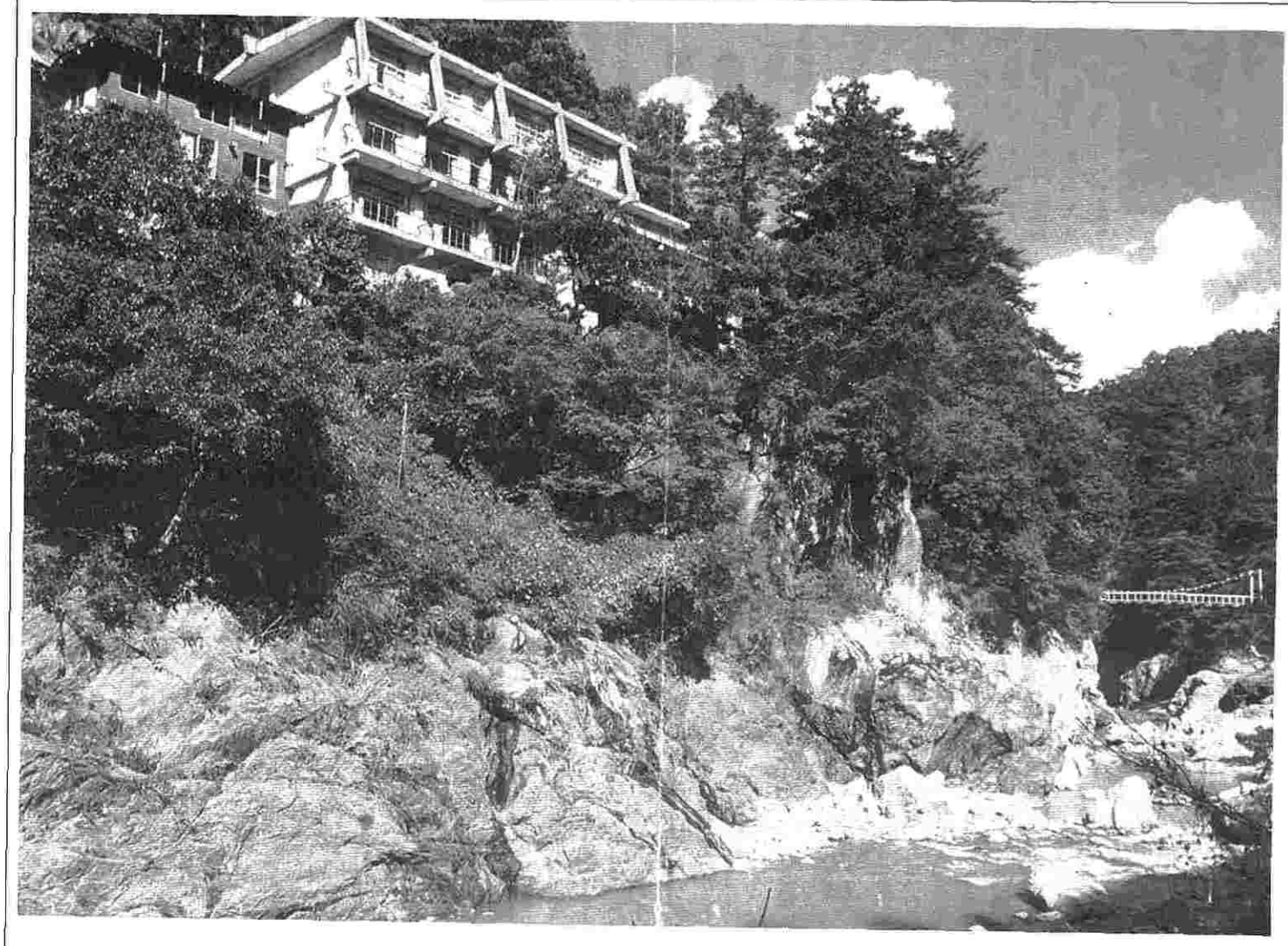
綱　領

1. 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. 吾々は、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3. 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

昭和61年
8月20日
発　行
第113号
（特集号）

発　行　所
日本赤十字新労働組合連合会
（日赤新労）
東京都港区浜松町2-2-14
KIビル802
TEL(03)433-3028
発行責任者
鹿島　順



昭和61年度 全国初心者研修会を開催

於・昭和61年7月17～19日、奥多摩鳩の巣渓谷

つゆ明け宣言が出たにもかかわらず、雲空の中、全国各地からの数多くの参加により開催されました。当地は都心から二時間あまり、豊かな自然にめぐまれた東京のオアシス奥多摩。その中で、ひときわ見事な渓谷美、吊り橋と清流の美しい調和を満喫できるのが、鳩の巣渓谷です。川原での水遊び、また御岳山や川乗山などへ向うハイキングの登山口として四季を通じて賑わいをみせ、奥多摩観光の中心になっている場所です。研修初日は、中央執行委員長の挨拶に続き、新労労働歌を全員で斉唱した後、自己紹介がなごやかな雰囲気の中で行なわれました。

研修会のテーマである「労働組合とは」から始まり、午後四時研修を終了しました。引き続き午後四時三〇分よりマス釣り大会に入りました。しかし、残念ながら時間の制約もあって、釣りの楽しみを十分満喫することはできませんでしたが、釣りたての新鮮なマスを、その場で焼き、とてもおいしくいただきました。夕食後午後八時より花火大会を行い、皆童心にもどり楽しい時をすごしました。

二日目は午前九時より始まり、残りのテーマである「綱領・規約」「労働協約」「六十一年度要求書」について、各講師の講義が始まり、最後に、中央執行委員長より「日赤機構と労働組合」について、わかり易く説明され、全員が熱心に聞きいっていました。研修の合間には、リラックスさせるため、指の運動、フーセンを使ったゲームを行ないました。

懇親会は全員で乾杯し宴会に入りました。講義も一通り終了したので、気が楽になったのか、アルコールの追加が相次きました。カラオケ大会も始まり、各単組代表の歌や、デュエット、労働歌もでるなど、二時間余りではありましたが、大いにお互いの親睦を深めた様子でした。

三日目は暑さをさけるため、午前四時三〇分に起床、五時出発という強行軍でしたが、鳩の巣渓谷を二時間程ハイキングし、午前九時に別れを惜しみながら解散しました。

上の写真は、奥多摩渓谷の流れと、研修会の会場・宿舎となった国民宿舎「鳩の巣荘」

「日赤機構と労働組合」の講義をおこなう川出中央執行委員長

「61年度要求書」などについて講義する鹿島書記長

初心者研修会のレクを担当して

少々重たくなった頭休めに、他単組との交流を図るためにとレクリエーションを間にはさんでみた。

❶全員が同時に楽しめる。
❷単純で説明をあまり要しない。
❸場所・材料を特に必要としない。

等を条件として考えた。

○風船を最大限に大きくふくらませて、いっきに割る。

○子どもの頃の折紙を思い出しながら紙飛行機をとばす。

○ストローでキッス等が当日のプログラムである。

ストローでキッスは事前にやってみて少々むずかしいと思ったのだが、参加者たちは、器用にすぐ自分のものにして、執行部一同少々拍子ぬけの思いがした。堅い話の中で気分転換になったのでしょうか。

他単組との交流の点では、前夜夕食時のカラオケ大会に続いて、多数が輪になり、マイクをまわしながら歌っていたゲームにはシャッポを脱ぐ。「オブレネリあなたのお家はどこ？」と問えば、まわされたマイクを手に「私のお家は秋田県よ」と続きながら、その地の特徴を歌いこみ次の人に問いかける。その人の出身地なり、職場なりを即興に作り出し楽しむ。

雰囲気作りは与えられたものでないだけに、アルコールも入っていたのであろうが、和気合々と皆の顔は生きいきとしていた。

これを機に自分達の職場以外にも眼を心を開かれるようになることを願う次第である。

研修会に参加して

スペースの都合で参加者全員の感想文の紹介はできませんが、その一部を掲載させていただきます。

組合のおかげで働きやすい職場になったことの実感が

研修を終えて、何が身についたか……といわれると、正直いってよくわかりません。でも一人の人間の力では、どうすることもできないようなことも、みんなが一つの和になり、立ち向かっていけばいい答えが出るものなのだなということがよくわかりました。

昔なんて、上の人の命令は、絶対服従みたいな所がありましたが、今のように組合というものができたおかげで、ずい分働きやすい職場になったのだなと、実感させられました。でも、ここまでくるのにも長い歴史の積み重ねというものがあったのです。大変なことの方が多かったでしょうが、そんなくり返しのおかげで、いつしか、使用者側が〝組合に入れてほしい〟と言わせるまでにした努力、そして団結力という組合にとっては、欠くことのできない力というものを感じました。

あんまり騒ぐと魚が逃げますよ

最初、組合の歌など唄わされて、正直いって驚きました。しかし、上司の方々の力強いうたいぶりに、笑いながら唄っていた自分が、いつしか真剣に唄っている自分に気付き、組合員の一人としての自覚をもてたような気がしていました。また最後に川出さんの話された〝人に嫌われることをおそれていては、組合員としては失格だ〟という言葉が胸に残りました。

自分の意見というものをしっかりと持ち、そして、それを発言できるという勇気というものも必要なのです。こんなことといったら怒られるかなあ、どうしょう…女の人にありがちな態度、また、いい子になろうと思っていては、自分の地位はいつまでたっても向上していきません。

今回の研修で、私は、組合に対する考え方というものを勉強させてもらいました。どうもありがとうございました。

研修をもっとふやして多くの人が学べるようにしたい

二日間、新労働組合についての講義を受けたんですが、少くとも、ここに来る前よりは、日赤新労についてわかったと思います。講義の中で、一番残っている言葉といえば、〝労使協調〟です。組合というものは、上の方の人たちばかりが、話し合うだけでなく、組合員一人ひとりの声が大切であり、組合員の団結・協力が必要であると思いました。まさに〝労使協調〟という言葉そのものだと思いました。

個人的意見として少し書かせてもらいます。四週五休が、四週六休になれば、それはとてもうれしいことです。でも、その前に、有休を、消化できるようになるといいなあと思います。このことは、部所ごとに、とりやすい、とりにくいということもあると思います。できることなら、どの部所も同じようにとれればと思います。

もう一つ、この研修について書きます。二回にわけるなりして、もう少し多くの人がこの研修に参加できればと思います。そうすれば、もっと多くの人が、組合について、少しでも理解できると思います。正直いって、ここに来た理由は、上の人から「行って下さい」といわれ、きました。でも、この研修に出れたことは、よかったと思います。どうもありがとうございました。

緑濃い早朝の渓谷はさわやかだ

よりよい労働条件をつくるために大いにがんばりたい

私にとって、この全国初心者研修会は実りの多かった三日間でした。講義の「労働組合とは」「綱領・規約」「労働協約」「日本赤十字社の機構と労働組合」については、私の勉強不足もあり、十分に理解できませんでしたが、これからの組合活動をするにあたって必ず役に立つことと思います。また、全国からのいろいろな仲間たちもすばらしい人ばかりでした。

私の単組では、出張の機会も少ないために、他の単組の情報もたくさん聞け、私の単組の遅れた活動を思い知らされ、追いつき、追いこせるようがんばろうと思います。労使協調のもとでの組合活動ですが、御用組合にならぬように、また、我われの仕事を充実したものとするためにも、よりよい労働条件を保障できるよう、これから一層がんばりたいと思います。

何がそんなにおかしいのでしょう

組合加入後四年目にして労働協約や組合規約を読んだ

私の単組は、組合員は三十人に満たない小さいものです。組合活動もあまり目立たず、ボーナス時の要求ぐらいで、執行委員は名前ばかりで、何と楽なんだろうと感じていました。また、組合員もまかせきりで、どちらかと言えば無関心が本根だと思います。私自身もそうだからです。

今回、新人研修に参加しまして、本部の役員の方達の顔を見ることもできました。他の単組の方と交流も出来、いろいろと話も聞けました。正直に言って、研修で何を得ましたか?と聞かれても即答は出来ませんが、新労組合に加入して、四年目ですが、今まで一度も目を通したことがなかった、労働協約や規約等を自分の目で見ることができました。

私の組合員の中にだって、規約等を見たことのない人がいると思います。ただこれだけのことですが、私自身はこれでも良いのでは…?と考えますが、何はともあれ、今日で研修が終りました。明日からは、前向きに協力に心がけたいと思います。

女性が組合や労働条件などにもっと興味をもつように

今年単組役員になって最初の仕事が、初心者(未加入者懇話会)説明会でした。よく分からないままオリエンテーションをしたのですが、今回の研修会の内容とかなり重複するものがあり、興味を持った。規約・協約の意味、他の全日赤労組との違い、分裂理由など、なぜ新労が支持政党を持たないのか等、少し分かりました。

そのいい悪いは別として、労使協調の名のもとに職員、組合員が言いたいこともいえない状態にならないよう、自分たちの労働条件、待遇改善が患者さんのためになることを信じて、日々働かなくてはいけないと思います。自分の職業柄(看護婦ですが)女性が半数以上を占める職場でありながら、労働問題に関する興味の薄さを日々感じています。

いろいろな問題は山積みですが、まず、私たち女性が、組合や労働条件に対する興味を持つことが先決のように思います。少なくともその思いがまた確認出来たことは、今回の研修会に参加してよかったと思います。執行部の皆様には大変お世話になりましたが、要望として、講義は簡単明瞭に(声が小さい時はマイクなど使用して下さい)、視聴覚教材(TV、スライド等)も活用されたらもっとおもしろく聞けると思いました。

どうもありがとうございました。今後も我われ組合員のためによろしくお願いします。

一人ひとりが自分の果たす役割の大切なことの自覚を

入社してはや五年目になるが実のところ初心者研修があるとは知らなかった。日頃私は一組合員としての自覚が薄かった。「組合とは何なのか」……三日間で少しでも理解できればと思っていたので、「労働組合とは」「労働協約」などの話を聞き、一人ひとりの役目の大切なことに、心を改めなければならないことを痛感させられた。またこんな緑豊かな場所で研修を受けられたことを光栄に思う。

最後に来年のために是非後輩に話を聞かせ、この初心者研修を成功させてほしいと思う。

初心者研修会のレクを担当して

ゲーム・その一

ピンクの小さな紙製のハート一枚を口にくわえた長さ約10cmのストローで呼気、吸気の調整よろしく手を使わず(相手にさわる、ストローを手でもつことは駄目!)次の人にリレーする、簡単なようでなかなかむずかしいこのゲーム。即ち「ストローでキッス」。勝負は最も正しく早くリレーしたグループが勝、相手が男、女いずれか交互であれば効果的。

ゲーム・その二

ゴム風船を一息でどれ位ふくらむか、破裂させることなく最大限にふくらませる。この二つ

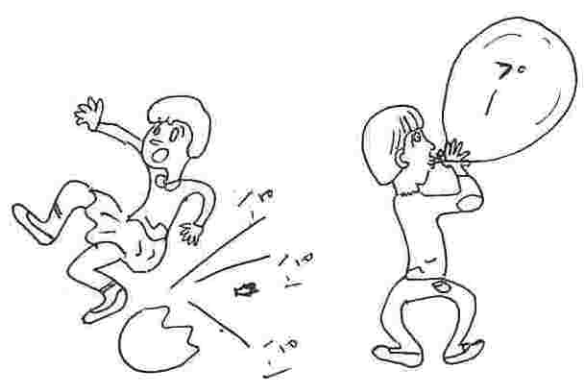
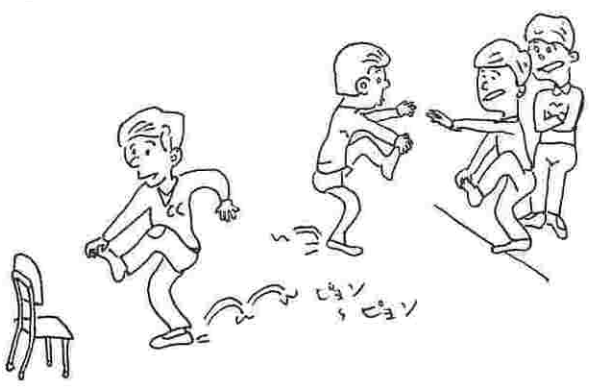
ゲーム・その三

それぞれの大きさを測り勝負。残りの風船は(?)圧で割る風船ゲーム。風船があちらこちらでパンパン炸裂、一瞬の間が人の奇声、と破裂音でにぎやか。ひごろのストレス解消に一役。(マンガ上)

ゲーム・その四

新聞紙を使っての飛行機とばし。作り方は一定の手順で、個人によって胴の太さが様々。尾翼の形もいろいろで…楽しい飛行機が出来あがり。最も遠距離を飛んだら勝ち。今回は5m以上が第一位。

一定のコース(3m~5m)を片手で反対側の足をできる限りひざをのばした状態でもち、ピョンピョン飛びリレーする。片足あげとび競争、早くリレー終了が勝ち!楽しみながら体力づくりができるゲーム、運動神経が勝負!なかなかうまくとべない。いかにスタイリストでも、こればかりは、かっこわる~い。(マンガ下)

以上四種類、もち時間約六十分、遊びの中での仲間作り、相手を少しでも知り、連帯意識(少々オーバーですが!)がもてるようにを目標としたレク活動。

ひごろ、このような活動に縁の少い私たちの担当でしたが、結果は参加者の若さとエネルギーで快い汗を流し、楽しいひとときを過すことができました。それぞれのゲームには、ささやかな一品を賞としました。これからもレク活動を大いに計画していただき、頭の体操と身体の代謝をよくし、活動が展開されればと考えます。